

グリーンアドバイザー認定試験問題の一例

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会

○×問題

番号	問題
1	F ₁ 品種は両親よりも生育が盛んで性質が優れていることが多い。この性質を雑種強勢と呼ぶ。
2	アジサイの剪定の適期は花芽分化期を考えると 10 月である。
3	一般に有機質肥料は遅効性なので元肥に使用すると効果がある。
4	インパチエンスは寒さに強いのでなるべく早春に花壇へ植える方が良い。
5	植木鉢の大きさは号数で表す。5号鉢は内径が25cmの鉢である。
6	カボチャ、キュウリ、ズッキーニはウリ科の野菜である。
7	市販の用土には pH 値が表示されているものがあるが、それは用土中に含まれる肥料分の目安になる。
8	ジャガイモは茎の一部が肥大したもので、根が肥大したものでない。
9	シャコバサボテンは長日条件で花芽分化する。
10	植物は光合成を行っている。光合成に必要なものは、光と水と酸素と温度である。
11	植物を増やす方法としての挿し木、取り木、株分けは栄養繁殖と呼ばれる。
12	ダリアは塊根をもつ秋植え球根植物である。
13	摘心とは無駄な花芽を取り除く作業のことである。
14	天地返しとは、忌地や連作障害を起こしているところの上層部の土壌を、下部の良い土壌と入れ替える作業を言う。
15	同一作物や同じ科の作物を同じ場所で毎年栽培すると生育が悪くなる現象を連作障害と言う。
16	「幸福の木」は品種名である。
17	パンジーは寒さに弱い春まき一年草である。
18	光周性とは、1 日の明期、暗期の割合や日長に対して植物が反応する性質を言う。
19	壁面緑化の目的の一つは、建物を植物で覆うことで夏季に室内の温度を低く保つことである。
20	もち病・うどんこ病は糸状菌(カビ)が原因で起こる病気である。
21	薬剤でスミチオン乳剤、オルトラン水和剤、ベンレート水和剤はいずれも殺虫剤である。
22	リン酸肥料は開花、結実に重要な働きがあることから「実肥え」と呼ばれる。
23	連作障害は、トマトを栽培した翌年、同じ場所にナスを栽培すると現れやすい
24	夏から秋に花が咲く宿根草の株分けの時期は早春が望ましい。
25	花などの有性生殖器官の生長を「栄養生長」という。
26	学名の二命名法とは、種小名を除く属名と命名者名で植物の種名を表す。
27	寄せ植えを行うときは、光や肥料の要求度など同等の植物を選ぶとその後の管理がしやすい。
28	発芽に必要な養分を胚乳に貯める種子を胚乳種子(有胚乳種子)という。カキは胚乳種子(有胚乳種子)である。
29	緑色植物は、耐寒性の強弱により C ₃ 植物、C ₄ 植物、CAM 植物に区別できる。

番号	正解
1	○
2	×
3	○
4	×
5	×
6	○
7	×
8	○
9	×
10	×

番号	正解
11	○
12	×
13	×
14	○
15	○
16	×
17	×
18	○
19	○
20	○

番号	正解
21	×
22	○
23	○
24	○
25	×
26	×
27	○
28	○
29	×

協会ではこれらの設問・解答に関する質問にはお答えできませんのでご了承ください。許可無く複製・転載することを固く禁じます。
Copyright © The Japan Home Garden Association All Rights Reserved

三択問題

番号	問題
1	「育種」の説明として正しいのは次のうちどれか。 1. 品種の改良を行うこと 2. 種子を大量生産すること 3. 種子から育ててセル苗を生産すること
2	秋まき一年草は次のうちどれか。 1. ニチニチソウ 2. ペチュニア 3. ストック
3	育苗箱で挿し木や種子から育てた苗を、小さな鉢に植え替える作業は次のうちどれか。 1. 鉢替え 2. 鉢上げ 3. 株分け
4	移植を嫌うので、直まきが好適な野菜は次のうちどれか。 1. トマト 2. ナス 3. ニンジン
5	鹿沼土は栃木県の鹿沼地方で取れる淡黄色粒状の土である。その特徴は次のうちどれか。 1. 酸性 2. 中性 3. アルカリ性
6	茎の伸長を抑制する植物ホルモンは次のうちどれか。 1. ジベレリン 2. オーキシシン 3. アブシジン酸
7	コンテナ栽培での水やりで最も適していないものは次のうちどれか。 1. 定期的に1日おきに与える。 2. コンテナの土の表面が白く乾いてきたら与える。 3. 朝か夕方の気温が高くない時に与える。
8	サクラが属する科名は次のうちどれか。 1. バラ科 2. ツツジ科 3. ツバキ科
9	酸性の土壤に適するものの組み合わせは次のうちどれか。 1. ホウレンソウ・ゼラニウム 2. ダイコン・シクラメン 3. ジャガイモ・コリウス
10	植物体内の水が水蒸気の状態で植物体外に放出される蒸散が行われる箇所は次のうちどれか。 1. クチクラ層 2. 気孔 3. 維管束
11	植物の器官の性質で「負の光屈性」を持っているのは次のうちどれか。 1. 葉 2. 茎 3. 根
12	植物分類の主な階級で右に行くほど小さなくりになる分類は次のうちどれか。 1. 目→科→属→種 2. 種→科→属→目 3. 目→科→種→属
13	剪定の目的で間違っているものは次のうちどれか。 1. 株や枝の若返りをはかる 2. 開花・発根の促進をはかる 3. 樹冠内への光や通風を増やす
14	多肉植物の中で夏場は特に半日陰で栽培した方がよいものは次のうちどれか。 1. リュウゼツラン 2. アロエ 3. クジャクサボテン
15	たねダンゴ用の土に推奨されている組み合わせは次のうちどれか。 1. 赤玉土とケト土 2. 赤玉土と腐葉土 3. 赤玉土と堆肥
16	中間地基準でコウライシバを張るのに最も適した時期は次のうちどれか。 1. 3月～4月 2. 7月～8月 3. 11月～12月
17	チューリップを地植えで植え付ける場合一般的に推奨される深さは次のうちどれか。 1. 球根の高さの5倍の深さに植える 2. 球根の高さの3倍の深さに植える 3. 球根の先が見えるように植える
18	次の害虫のうち、全て「吸汁性害虫」の組み合わせはどれか。 1. グンバイムシ・ハモグリバエ・コガネムシ 2. ダンゴムシ・コオロギ・カイガラムシ 3. アブラムシ・コナジラミ・ハダニ

19	ツツジの花芽分化期は次のうちどれか。 1. 3～4月 2. 6～7月 3. 10～11月
20	日本では一年草として扱われるハーブは次のうちどれか。 1. ラベンダー 2. レモングラス 3. バジル
21	平暖地において日陰で育つ植物の組み合わせは次のうちどれか。 1. ユキノシタ、ギボウシ 2. センリョウ、カーネーション 3. アサガオ、スイトピー
22	ペチュニアの種子の発芽に必要な条件の組み合わせで正しいのは次のうちどれか。 1. 温度・水・光・肥料成分 2. 温度・水・光・酸素 3. 温度・水・光・二酸化炭素
23	高温乾燥の夏と温暖多雨の冬が特徴の地中海沿岸気候型の植物は次のうちどれか。 1. パンジー 2. スイートピー 3. ポインセチア
24	主に10～11月に定植する秋植え球根の組み合わせで正しいのは次のうちどれか。 1. ダリア、アマリリス 2. カンナ、グラジオラス 3. ヒアシンス、チューリップ
25	春化处理について正しい説明は次のうちどれか。 1. 植物体や吸水させた種子を低温処理することで開花をしやすくすることである。 2. 植物体や吸水させた種子を高温処理することで開花をしやすくすることである。 3. 植物体や吸水させた種子を強光処理することで開花をしやすくすることである。
26	地下茎の分類で球茎に属する植物は次のうちどれか。 1. グラジオラス 2. チューリップ 3. ユリ
27	着花習性の説明で正しいものは次のうちどれか。 1. バラは今年伸びた枝に花芽をつけて今年中に開花する。 2. サルスベリは今年伸びた枝に花芽をつけて翌年中に開花する。 3. アジサイは今年伸びた枝に花芽をつけて今年中に開花する。
28	典型的な短日植物の組み合わせは次のうちどれか。 1. シクラメン・カーネーション 2. カランコエ・皇帝ダリア 3. ペチュニア・パンジー
29	農薬販売に当っては販売所ごとに「農薬販売届」を届け出しなければならない。届け出先は次のうちどれか。 1. 都道府県知事 2. 市町村長 3. 管轄する保健所長

番号	正解
1	1
2	3
3	2
4	3
5	1
6	3
7	1
8	1
9	3
10	2

番号	正解
11	3
12	1
13	2
14	3
15	1
16	1
17	2
18	3
19	2
20	3

番号	正解
22	1
23	2
24	2
25	3
26	1
27	1
28	1
29	2
30	1

協会ではこれらの設問・解答に関する質問にはお答えできませんのでご了承ください。許可無く複製・転載することを固く禁じます。

Copyright © The Japan Home Garden Association All Rights Reserved